

10月1日国勢調査—調査票は届きましたか? 問情システム課(内421)



千葉 洋輔ちゃん
杜家、千葉信一・美智子さんの3男=1歳



渋谷 和樹ちゃん
柏ヶ谷、渋谷寿人・幸子さんの長男=1歳



沼田 彩香ちゃん
今里、沼田裕二・恵子さんの2女=1歳



川岸 生実ちゃん
上郷、川岸文和・美代さんの4男=1歳1カ月



中澤 愛ちゃん
今里、中澤大介・恵子さんの長女=1歳1カ月



山口 翔瑚ちゃん
国分北、山口利光・美香さんの2男=1歳



藤原 玲奈ちゃん
河原口、藤原浩司・貴子さんの長女=1歳1カ月



佐野 瞭太ちゃん
河原口、佐野幸一・昌子さんの長男=1歳2カ月

まんまるおぼちゃん



「まさか」の本番に備えて

9月3日、上星小グラウンドで市総合防災訓練が実施されました。参加者1500人が、東海地震を想定した消火訓練などに取り組みました。

上今泉六丁目、北部公園体育館がオープン。一般利用前日の9月3日には市中学新人バレーボール大会が開催されて、選手たちが熱戦を繰り広げました。

市北部スポーツの拠点オープン



ノボレピピタス

今年も甘いナシのもぎとり
9月10日、下今泉地区で「王の日・ナシのもぎとり」が行われました。家族連れなどおよそ400人が、たわわに実ったナシのもぎとりを楽しみました。



「海老名の秋風景」写真募集

広報えびなに、みなさんが海老名市内で撮影した風景を掲載します。
▽募集写真 秋の市内風景を撮影したカラープリント1判(サービスタ)1人1点。ただし今年撮影したものに限ります(ネガ・ポジ・デジタルデータ、すでに雑誌などで発表されたことがあるものは不可)
▽応募方法 写真裏面に撮影者の住所・氏名・電話番号・撮影日・撮影場所を必ず記入し、10月31日(火)までに直接または郵送で広報広聴課へ。選考のうえ1~2枚を広報紙上で、また、紙面掲載できなかった作品を市ホームページ上で紹介します(広報紙面掲載者には後日連絡)
※応募作品は返却しません。前回「夏の風景」に応募された方も応募できます。
▽問い合わせ 同課(内272)。

今月のプロフィール

得意のスマッシュで全国3位に

競技バドミントンは、シャトル(羽根)を打ち合うとても過酷なスポーツ。中でもダブルスは、パワーとスピード、そして選手同士の連係が要求される種目です。「自分でも、まさかここまで勝ちあがれるとは思いませんでした」と話すのは、浜田町在住の高校3年生・波多野友美さん。友美さんは、8月に行われた全国高等学校バドミントン選手権大会・女子対抗ダブルスに富士見丘高校(横浜市)から県代表として参加、98組の強豪がひしめく中準決勝へ進出、第3位の成績を収めました。

左利きの友美さんは、「自分の得意なショットはスマッシュ。相手コートに向かって対角線に打てば、左利きが有利に働きよい決め球になります。ハル(パートナーの高橋晴香さん)が右利きなので、お互いにカバーしやすいのでは」と、自身のプレーを分析します。

波多野 友美さん

高校総体バドミントン
ダブルスに出場の



3位のメダルを持つ友美さん

バドミントンを本格的に始めたのは、高校に入ってから。高橋さんとは、1年生のときに先輩の薦めでコンビを組んで以来の間柄。「ハルとはずっと組んできたので、お互いの長所・短所をよく分かり合える頼もしいパートナーです」。

大会でもその絶妙な連係で勝ち進み、迎えた準々決勝の埼玉栄高校戦。このときは最終セットまで試合がもつれたうえ、途中で高橋さんが足をつって動けなくなるピンチに。「こういうときこそ自分が頑張らなくては」。そう思い無我夢中で打ちまくって勝ったことが、大会での一番の思い出です。

来年、大学へ進学してもバドミントンを続けたいという友美さん。「ハルとは離ればなれになりますが、また大きな大会に出場して自分の力を試してみたい。彼女と対戦できるチャンスがあればうれしいです。自らのスマッシュに一層の磨きかけた友美さんが、大舞台で再び力を発揮するのもそう遠い話ではないようです」。

検車区では、電車の屋根にも上らせてもらいました。夢中で取材するうち、かぶっていたヘルメットが架線に触れてしまいました。

感電!と思いましたが、もちろん検査中で電気は流れておらず、あたふたした自分思わず赤面してしまいました。(康)

編集後記